

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 13 No. 31 TOTAL 550 平成23年3月28日 第568回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30

[例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アパローム紀の国

[事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階 (〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/田原サヨ子 (会報委員)
副会長/安宅 浩一 ○北畑 充香 ○石垣 秀幸
幹事/野村 伸 石橋瑳禰子 三木 民生



2010-11年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ RI会長 レイ・クリンギンスミス

2010-11年度
アゼリアロータリーのテーマ

『行動するロータリアンを目指そう』

〈本日の例会〉

- 第568回例会 3月28日(月)
- ☆アゼリア会 (夜間例会)
- ☆新入会員歓迎会・米山奨学生送迎会
- 場所:ダイワロイネット和歌山 3F 華都飯店

〈次回のお知らせ〉

- 第569回例会 4月4日(月)
- ☆ひかり基金贈呈式・報告会
- ☆アジア眼科医療協会の活動報告
- ☆第11回ダラムサラ(インド)アイキャンプを終えて
- ☆アジア眼科医療協会 常任理事
- ☆医療法人 英悠会 理事長 松本英樹様

〈前回の例会記録〉

- ローターソング それでこそロータリー
- ゲスト紹介
- ビジター紹介 和歌山RC 井手幸男様
- 出席報告 会員数44名
- 本日の出席 (3/14) 26/41名 63.41%
- 前々回修正出席 (2/28) 28/41名 68.29%
- メイクアップ 0名

〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	3月28日(月)	未定
和歌山	3月29日(火)	「生き残りのためのブランディング 和歌山大学の広報」
和歌山サンライズ	3月29日(火)	
和歌山東南	3月30日(水)	新入会員(3年以内会員)卓話
和歌山西	3月30日(水)	「ロータリーリーダーシップ研究会に参加して」会員リー卓話
和歌山東	3月31日(木)	例会変更(お花見例会・友好クラブ訪問)
和歌山城南	3月31日(木)	休会③
和歌山南	4月1日(金)	
和歌山中	4月1日(金)	

会長報告



会長 田原サヨ子

和歌山ロータリークラブの井手様
ようこそお越しくださいました。ど
うぞごゆっくりなさってください。

さて、3月11日(金)午後2時46分東北地方の宮城
県三陸沖を震源とした、マグニチュード9の大地震
が発生いたしました。かつてない大地震であり、地
震と津波による家屋等の崩壊、そして福島第一原子
力発電所の事故、その被害は膨大なものであり、お
亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。

3月7日(月)例会終了後に臨時理事会を開催いた
しました。議題は「松本博さん入会について」でし
た。理事会で承認され、その後入会手続きに従い進
めました。全会員賛成でございましたので、正式に
入会していただきます。今年度3名の方の入会で、
とても嬉しいことです。

次に3月12日(土)午後1時30分~3時30分、ビッ
グ愛にて(社)和歌山県聴覚障害者協会への支援事業
として「手話をもっと知ろう」を開催いたしました。
当日御参加頂いた方々、そして関係委員会の皆さん
本当にご苦労様でした。

ここで「手話の歴史」についてお話いたします。

1760年にミシェル・ド・レペが、フランス・パリ
で最初の聾啞教育施設を創設し、手話での教育を始
めたことが最初とされ、アメリカではレペの弟子で
あるギャロデットによって広められました。日本
では、1878年(明治11年)古河太四郎が京都で日本
では初めての聾学校「京都訓聾啞院」を設立し、そ
こで日本手話の原形と言うべき言語が生まれました。

「日本手話」は日本語と異なる独自の体系をもつ
言語で、聾啞者同士の交流から生まれました。

「日本語対応手話」は日本語の文章に手話の単語
を当てはめいく手法で、音声言語のまま手話表現し
ます。また、健聴者でも学び使えます。本日の話は
以上で終わりです。

幹事報告



幹事 野村 伸

- ・ガバナー月信回覧します。
- ・東日本巨大地震義援金のご協力お願い致します。

・先週お届けした松本博さんの新会員通知の書面ですが、職業分類の欄に間違いがありました。
(通信業→プロモーター)

オリエンテーション顧問の通知

R情報委員会 加納達之会員

福西会員の後任として、3月から入会された、新入会員の中尾八朗さんのオリエンテーション顧問委嘱を掛下吉三会員に依頼します。



◎親睦活動委員会

井上晴喜会員



今日はホワイトデーです。親睦より女性会員の皆様にごクッキーをお配りさせていただきました。

まだ頂いていない方は事務局までおっしゃってください。

今回はアゼリア会です。夜間例会となっております。新入会員歓迎会と、米山奨学生のワンさんの送別会です。グルメ同好会がジョイントして下さるとい

うことで、盛大にお祝いしたいと思います。出欠のお返事まだの方がいらっしゃいましたら、食事の都合がありますので、事務局までご連絡してください。

例会は19:00から、ダイワロイネット3Fの中華料理 華都飯店ですので、お間違えのないようにお越しください。

例会前の17時~18時 JR和歌山駅近鉄百貨店前にて東日本地震災害街頭募金活動を行います。参加されない方は、直接例会場(ダイワロイネットホテル)にお越しください。

委員会報告

◎社会奉仕委員会

大野治朗会員



3月12日 13:30~15:30 (社)和歌山県聴覚障害者協会への支援事業として「手話をもっと知ろう」を開催しました。参加していただいた皆様ありがとうございます。3月11日に東日本大震災が勃発しましたが開催させていただきました。ささやかでしたが障害者の方々と楽しいひとときを過ごすことができました。



◎広報委員会

吉岡恵美会員



「ロータリーの友」3月号読み所紹介

11日の東北関東大震災で被災された多くの方々に心からお悔やみ、お見舞いを申し上げます。遠く離れていまして身近に御親せきやご友人で被災され、ご

心痛の方もいらっしゃるでしょう。こういう時こそ、ロータリーのネットワークを生かして何かできることはないかと強く思います。

さて、今月の友の読みどころですが、ヨコ組P5からP13にかけまして各クラブの識字率向上の活動が特集されております。各々有意義な活動に感心しました。P31戦後の日本のRCが国際RCへ復帰の記事も興味深いものです。P38、39には米山学友の活躍がシリーズで紹介されていますが、今月の方も日本とかかわりの深い方でした。

タテ組では、P2～P6八尾中央RCの女性会長で医学博士の吉馴茂子さんのお話、P16友愛の広場の「小さい命」という記事が私は良かったと思います。ぜひお読みください。

外部卓話

「自己紹介&近頃考える事」

三木民生会員



○ふる里“寒川”は今。

私の生まれ育ったふる里は限界集落となってしまいました。限界集落というのは、65歳以上の高齢者が半分を超え、冠婚葬祭など共同体の機能の維持が難しくなった集落ということです。この限界集落に至る過程には、後戻りできない臨界点があり、集落の壮年人口(30～64歳)が4人をきると、どんな対策打っても効果がないとの研究もあり、焦燥感に駆られるものがあります。田舎の人たちとどんな議論しても、これは面白い、やってみようという感じの話は全くない。いずれも付け焼刃の話になってしまうのも、うなづけます。

最近読んだ本で、竹中平蔵さんは「例えば私が生まれた和歌山県の人口は2030年までに2割減ります。だから悪いけど郡部の人には和歌山市に住んでくれ、と。人口を集約する国土政策に大転換するしか道はないと。インフラ整備に予算をかけられないとの意味です。この言葉は私達も頭の中では全く予想出来ない事ではありませんが、この人に言われるときつい一発です。加えて、本年2月21日、国土審議会の発表によると、

- ① 2005年に人が住んでいた国土の約20%で2050年には住む人がいなくなる。
- ② 過疎化が進む地域では、人口減少率が61%に達する。とあり、我がふる里は私の人生同様、将来がないのであろうか。

○近頃考える事

1. 普天間基地問題

先の衆議院選挙で鳩山首相は、「最低でも県外へ」と発言した。私はこれを聞いて、新しい基地はどこにできるのか気になり、すぐ東京の先輩に連絡を試みると、「徳之島らしいよ。だけどあの宇宙人はどこまで話を詰めているかわからんよ」とのお話であった。選挙は民主党の大勝で、国民はマニフェストに期待を寄せた結果で、沖縄県民も大いに期待したものである。

その後の普天間問題はご存知の通り、迷走の八ヶ月。確認できたことは、「沖縄以外に米軍基地の受け入れ先はなし」という現実である。私は最近、在独米軍基地の縮小、地位協定の見直しなど(1993年)の情報を知り、この機会に宇宙人に悪乗りして、混乱させて、米国に在日米軍のあり様を検討する機会を与え、日米軍事同盟は動かしがたい固定したものかどうか、考えてみたいと思うようになりました。

最近の極東に於ける脅威は、大きく変動している。最大の脅威である中国について考えてみたい。例えば、2009年米中貿易額は、3959億ドルと日米間の1469億ドルの2.5倍、米国から日本への入国者70万人ですが、中国へは171万人である。モノの動き、人の動きをみても、日米中の経済的相関は急速に変化している。米中間の方がはるかに密度の濃い意思疎通を計っているのである。

そして、中国にとって在日米軍は「ビンのふた」として、日本軍国主義が復活しない様、米軍の存在に期待しているのである。こんな状況下であればこそ、今や日本は日米同盟の新たな在り方を正面から議論すべきであると思います。

第一段階・・・普天間の移設を巡る実務者レベルの協議だけでなく、外務・防衛だけでなく経済閣僚を含め、安全保障と経済の二本立ての協議を深め、日米同盟を再設計する。

第二段階・・・ドイツ同様、すべての基地を抑止力の視点から吟味して、目的が終えたとき合意できる基地・施設の返還を実現。また、抑止力のため必要と判断された基地を日本側が管理権を持った基地に統合し、共同使用基地とする。

第三段階・・・東アジアの安定を見極めながら、駐留米軍のハワイ・グアムの線まで撤退の実現。

これが、現実のものとなると、当然日本の防衛は日本自身が責任を持つという所謂「自主防衛」への具体的構想が必要になってくる。近隣諸国に軍事的脅威を与えないためにも、専守防衛に徹し、北東アジアの非核化を実現すべきであり、その為の外交でなければならない。

このステップの実現の可能性は米国の財政状況からも予想できる。ベビーブーマーに対する財政支出が急増するのである。ベビーブーマーとは、1946年～64年の間に生まれた米国民で、7700万人もいる。この人たちに国は65才から引退者に対し年金と医療保険が連邦政府によって支給されております。連邦政府が支出する経費は、連邦予算全体の2000年に35%、2010年代末には50%を超え、2020年代後半期には75%に達するというものです。政治的に年金と医療保険をカットすることも勤労者への増税も難しい状況が背景にあります。

又、ゲーツ国防長官自身も「米国は海外に大規模軍事展開する余裕を失いつつあり、同盟国や問題を抱えている国が自らの国を自力で防衛し安全を確保することを背後から支援する政策を取らざるを得ない」との考えを表明しています。

「日本は米国についていくしかない」という思考停止から、国際社会の常識である「独立国に外国の軍隊が長期間に渡り、駐留することは不自然なことだ」という認識を取り戻し、相互信頼に値する日米同盟の再構築に立ち向かうべきである。

2. 年金

年金制度を検証する場合、2004年自公政権の年金改革「100年安心プラン」は避けて通れない。特に、①少子高齢化の想定外の進展②積立金の運用利回りの低迷(安心プランでは名目3.2%。実態は2009年1.5%)③リーマンショックによる(2008年秋)金融危機の発生。は、安心プランへのトリプルパンチでした。そして、2009年の財政検証時、厚生労働省は積立金運用利回りを始めとして、年金財政予測に使われる将来の経済想定を非現実的なバラ色のシナリオに大幅に改竄(かいざん)しました。最大の問題である運用利回りのみを取り出してみますと、前回想定(2004年時)は3.2%であったものが4.1%の高利回りに変更されたのである。これにより100年安心をカバーし、①、②、③のパンチを相殺してしまうのです。これほどまでに国民を欺いているんだと認識することは、この問題を理解する重要なポイントです。もう一つの大きな問題点は、年金原資である積立金です。2009年財政検証によると、本来厚生年金で830兆円、国民年金で120兆円なければならない積立金は、2009年時点で厚生年金が140兆円、国民年金が10兆円程度。差し引きで800兆円もの積立金が浪費されてしまっていました。何に浪費されたのか。主なものを上げると・・・

①官僚達による天下り先の特殊法人や公益法人を通

じて浪費した人件費やプロジェクト

②旧社会保険庁自体が行った福利厚生費への流用

③グリーンピア・サンピアといった巨大保養施設の建設費などである。

この浪費によって、多くの国民が恩恵を受けているというのではないのです。

そして制度問題として賦課方式を取っていることです。日本は現在の現役層が支払った保険料はすべて高齢者達の年金を支払うために使われるという制度です。この方式は近い将来行き詰まります。それでは、持続可能な制度としては、積立方式への移行を考えられている。この制度は、現役時代に支払った保険料が国に蓄えられ、それを原資に老後、年金として受け取るというものです。この制度への移行期には多くの問題点が考えられる。まず、年金受給者にも年金額削減を迫らざるを得ず、一方、保険料を支払う現役世代には、事前積立方式の様に、例えば将来保険料が2倍になる場合、早めに1.5倍の保険料を払うことによって保険料の平準化をはかるなどである。そうしないと国民年金の不払者が現在の40%で止まらなくなるのを怖れなければなりません。医療・介護においても同様の対応が必要です。その中で、消費税の問題は避けては通れない最大の課題です。

S・A・A 報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

田原サヨ子会員 土曜日「手話をもっと知ろう」へのご参加ありがとうございました。関係委員会の皆さん御苦勞様でした。三木さん本日の卓話どうぞよろしくお願い致します。

三木民生会員 東北関東大地震を他山の石とするには大きすぎます。災害に遭われた方々のご冥福とお悔やみを申し上げます。

大野治朗会員 聴覚障害者協会の講演会ご参加有難うございました。

野村 伸会員 和歌山RC井手様、ようこそお越し下さいました。3月12日手話落語出席出来なくてすみません。

本日合計額 13,000円 今年度累計額 942,000円

*ロータリー財団

田原サヨ子会員 三木民生会員

本日合計額 7,000円

*米山奨学

田原サヨ子会員 三木民生会員

本日合計額 7,000円